

# ASC680L

## レクサス LS460 / LS600h 専用 エアサスコントローラー補足説明書

適合車両			
LS460	USF40・45	H18.9～H21.10	
LS460L	USF41・46	H20.9～H21.10	
LS600L	UVF45	H19.5～H21.10	
LS600hL	UVF46	H19.5～H21.10	

ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しいご使用方法でご愛用ください。本製品には1年間の保証(保証内容については保証書をお読みください)が付いております。必ず同封のユーザー保証登録カードをご返送頂きますようお願いいたします。このカードをお送り頂けない場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。



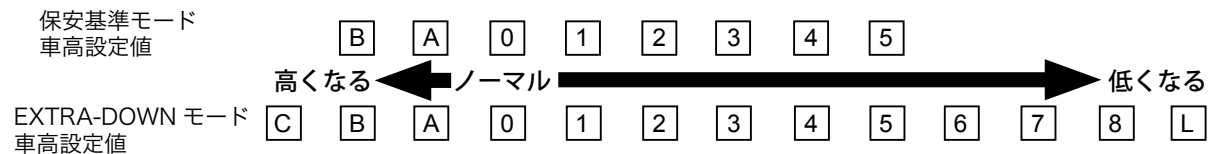
本社 東京都新宿区新宿 1-18-2  
倉敷支社 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1617(代)  
自動音声案内に従って下記の#(シャープ)と番号を押してください。  
#1 適合確認 #2 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付) #3 在庫確認・ご注文  
(※ コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねますので予めご了承ください)

### レクサス LS460/LS600h 車種設定について

ASC680L はレクサス LS460/LS600h 専用のエアサスコントローラーです。車種設定は必要ありません。また、このASC680L はレクサス LS460/LS600h 以外の車種には取付できません。ASC680L は「TEMS ハード固定」の機能はありません

### 操作方法・車高設定値について

操作方法については「ASC680 取扱説明書」をご覧ください。  
車高設定範囲は保安基準モードで「B～5」、EXTRA-DOWN モードで「C～8、L」(9はありません)になります。



### 高速走行のときの車高制御

ASC680L で車高設定していると、高速走行時は車高制御を行いません。停車時に車高を安定させてから走行してください。右ページの「レクサス LS460/LS600h に使用する場合のご注意」をお読みください。

### 「HEIGHT HIGH」インジケータの点灯について

高速走行時、メーターパネル内の「HEIGHT HIGH」インジケータが点灯します。これは故障ではなくASC680Lの動作を示すものです。詳しくは右ページの「レクサス LS460/LS600h に使用する場合のご注意」をお読みください。また、急加速・急発進時に「HEIGHT HIGH」インジケータが点灯することがあります。

### 車高制御を早くするには

1～2段階の設定変更の場合、エアサスペンションの特性から車高が変化しない場合があります。車高を設定し車高制御の開始を早くするには、車両の「HEIGHT HIGH」スイッチを押して、コンビネーションメーター内の「HEIGHT HIGH」ランプが点灯したことを確認したら、もう一度スイッチを押してランプを消灯してください。この操作をすることにより車両の制御がはじまります。

### 本製品をご使用になる場合のご注意

これら警告内容は製造物責任法(PL法)に基づき、ユーザー様に本製品の正しい使用方法をご理解頂くために表記しています。(注意事項の定義につきましては取扱説明書をご参照ください)



- ASC680L は、車高を変化させた状態での走行を目的として開発されたものではありません。
- ASC680L で車高を変化させた状態での走行は大変危険ですので、必ずノーマル車高に戻してから走行してください。
- 万が一車高を変化させた状態で走行すると、主に以下のような危険性の高い要因が発生します(下記の内容が危険性の高い要因全てではありません)。
- ・アライメント変化などからタイヤの異常磨耗やトラクション不足、ハンドリング異常、乗り心地の悪化。
- ・タイヤ・ホイールとボディ(フェンダー等)の接触による破損・損傷。※特に大口径タイヤ装着車、インチアップやスパーサー使用によりワイドトレッド化された車両等。
- ・ボディ(スポイラー等)と地面・輪止め等の接触による破損・損傷。
- ・サスペンションへの負担によるサスペンション破損・損傷。
- ・保安基準非適合による違法行為。
- インチアップホイール・ワイドタイヤ・大口径タイヤを装着している車両、及びスパーサーによるワイドトレッド化された車両にASC680Lを使用すると、タイヤがフェンダー・サスペンション等に干渉する恐れがありますので、そのような車両にはASC680Lを使用しないでください。



- 本製品を使用したことによるエアサスペンションシステムに関連する全て(サスペンション本体・コンプレッサー・車高センサー・サスペンションCPU等)の故障・損傷・破損及び車体(ボディ・エアロパーツ・タイヤ・ホイール・マフラー等)の故障・損傷・破損において当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
- 本製品を使用して発生した違法行為・安全義務違反による罰金・減点等に関しても一切の責任を負いませんので予めご了承ください。



### レクサス LS460 / LS600h に使用する場合のご注意

レクサス LS460 に本製品 ASC680L を取り付けて、車高メモリー(M1～M5)を選択している場合、時速75km以上の速度では車高制御を停止し車高は一定のままになります。この動作が正常に行われていることを示すように「HEIGHT HIGH」インジケータが点灯します。このとき、車高設定値・車高メモリーを変更しても車高は変わりません。なお標準で装備されている高速走行時(時速100km以上)で車高を1.5cm下げる機能と「HEIGHT HIGH」スイッチ操作時、時速80kmでノーマル車高に戻す(2cm下げる)機能も動作しません。時速60kmまで速度が低下するとこの機能は解除され車高制御が始まります。(車高メモリーについては「ASC680」取扱説明書の11ページを参照してください)  
この制御によってすべての安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がる場合もあります。よって走行する際は必ず車高メモリーを「NORMAL SELECT」に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。  
また、「HEIGHT HIGH」インジケータは急加速・急発進の際にも点灯することがあります。レクサス LS600h(ハイブリッド車)に取り付けた場合、エンジン始動後のアイドリングストップ(バッテリーのみで動作中)でも車高制御できます。



### バッテリーを外した際の各機能の再設定(作業終了後、必ず行ってください)

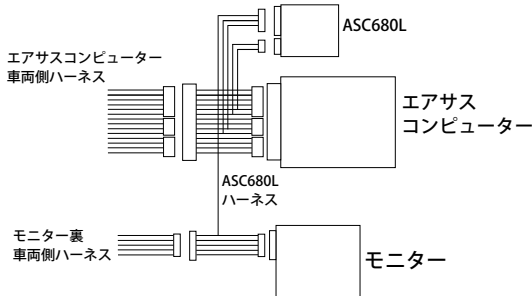
- |                            |                                      |
|----------------------------|--------------------------------------|
| ・ステアリンセンサー0点取得             | エンジンを始動し45km/h以上の速度で8秒間以上直進する。       |
| ・バックガイドモニターシステムの初期化        | 平坦路でステアリングホイールを左右いっぱい切る。             |
| ・インテリジェントパーキングアシストシステムの初期化 | 平坦路でステアリングホイールを左右いっぱい切る。             |
| ・電動リアドアサンシェードシステムの初期化      | IG ONにし、サンシェードのフロントあるいはリアのスイッチを2回押す。 |
| ・パワートランクリッドの初期化            | 手でトランクを全開にする。                        |

レクサス LS460/LS600h ASC680L 取付方法

**重要**  
**取付の前に**  
 製品の取り付け、取り外し作業の前に、G-セキュリティの設定をしている場合は解除を行ってください。解除方法については車両説明書またはレクサス販売店にて確認のうえ行ってください。  
 またHDDナビゲーションはIG OFF後、約6分間でメモリー記憶するため、IG OFF後、6分以上経過してからバッテリーマイナス端子を外してください。  
 バッテリーを取り外すと「給油後平均燃費」「給油後走行時間」「走行時間」「平均車速」の情報がリセットされ、「0」にもどります。もとの数値は復元できません。

取付位置について

ASC680Lは、2か所のユニットに取り付けます。運転席前のエアサスコンピューター、モニターユニットの2か所です。重大な事故の原因になりますので、かならず両方のユニットに取り付けてください。

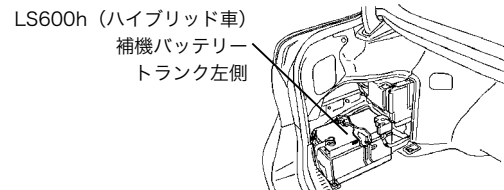


取付の後に

**重要**  
 製品の取付作業後、車両の各機能の再設定が必要になります。この説明書の表面「バッテリーを外した際の各機能の再設定」をお読みになって再設定を行ってください。

レクサス LS460/600h 取付方法 (エアサスコンピューター部分)

全車、IG OFF から6分以上経過させてから作業してください。  
 LS460はボンネット内のバッテリーのマイナス端子を外します。  
 LS600h (ハイブリッド車)はトランク内の補機バッテリーのマイナス端子を外します。



**図1** フィニッシュパネル外し (運転席側)  
 リムーバーを使い、サイドパネルのクリップを外す。

**図2** エンドパネル外し  
 リムーバーを使い、エンドパネルのクリップを外す。

**図3** ホールカバー外し  
 保護テープ巻いたマイナスドライバーを使い、パーキングブレーキ下のホールカバーを取り外す。

**図4** ロアパネル取り外し  
 スクリュー2本を外し、クリップ(6か所)を外し、ロアパネルを取り外す。

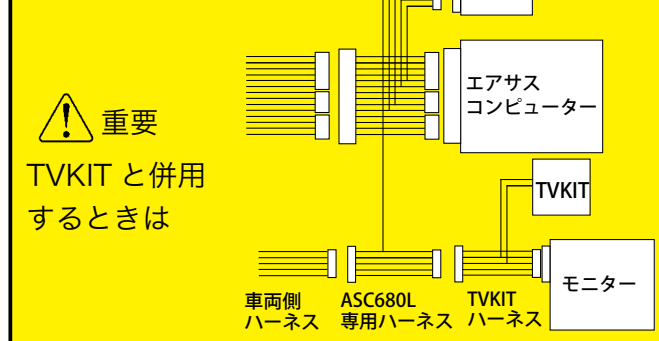
**図5** エアサスコンピューター  
 ステアリングシャフト右側にあります。

**図6** エアサスコンピューター  
 エアサスコンピューター  
 専用ハーネス接続位置

※ハーネスの接続はモニター裏にもあります。必ずモニター部へも取り付けてください。取付方法は右ページにあります。

レクサス LS460/LS600h 取付方法 (モニター部分)

このASC680LをTV-KITなどTV制御装置と併用する場合はモニター裏にまずTV-KITを接続し、TVKITと車両ハーネスのあいだにASC680L専用ハーネスを接続してください。接続しない、または接続順を誤ると車高制御上の不具合が発生し、重大事故につながります。



**重要**  
 本革仕様の車両は、革に傷が付き易くなっています。ユニット脱着時にドライバーなどでこじらないように十分注意してください。

**図1** パネルガーニッシュ外し  
 車両の前方付近を外側に引いて、勘合を外す

**図2** シフトノブ外し  
 反時計方向に回してノブを外す

**図3** コンソールボックスパネル外し  
 図示の部分を上へ引き上げる様にして、勘合を浮かせてパネルを外す

**図4** コンソールアッパーパネル外し  
 斜線部に保護テープを貼る。周囲の勘合を浮かせてアッパーパネルを外す

**図5** コンソールパネル外し

**図6** ラジオレシーバ外し

**図7** モニター外し  
 手前に引き出す

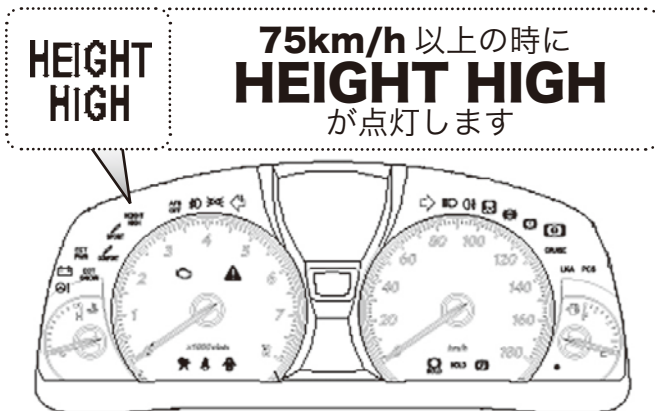
**図8** モニター裏側  
 矢印の位置にエアサスコントローラーの26ピン(単独)を接続してください。

# HEIGHT HIGH インジケータについて

ASC680L を取り付けて、車高メモリー (M1 ~ M5) を選択している場合、速度 75km/h 以上では車高制御を停止し車高は一定のままになります。

**「HEIGHT HIGH」が点灯します<sup>(※1)</sup> が、制御が正しく働いているためであり、異常ではありません。**

速度 60km/h まで低下するとこの制御は解除され、インジケータは消灯し車高制御が始まります。インジケータ点灯中は車高設定値・車高メモリーを変更しても車高は変わりません。また標準で装備されている高速走行時 (速度 100km/h 以上) で車高を 1.5cm 下げの機能と「HEIGHT HIGH」スイッチ操作時、速度 80km/h 以上でノーマル車高に戻す (2cm 下げる) 機能も動作しません。この動作は高速走行時の不要な車高変化を防ぐための制御ですが、この制御によってすべての安全が確保されるわけではありません。予期せぬ車高変化や車高設定値によっては本製品で設定した車高よりも下がってしまう場合もあります。よって走行の際は必ず車高メモリーを「NORMAL SELECT」<sup>(※2)</sup> に設定し、ノーマル車高に戻ったことを確認してから走行してください。



- ※1 「HEIGHT HIGH インジケータ」を点灯させないようにすることはできません。
- ※2 「NORMAL SELECT」設定時は上記制御は動作せず、純正の車高制御のみおこなわれます。

株式会社 データシステム

■ 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-4137

■ 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1617 FAX.086-440-1635